

(4) 教務関係

1) 授業科目と単位について

学修の手引き

1. 指導教授

専攻の主科目を担当する教授を指導教授とし、本大学院における学生の学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）にあたる。

2. 教育方法

本大学院における教育は、授業科目の授業及び研究指導によって行う。

3. 授業科目

研究科における授業科目については別頁のとおり。

4. 履修方法

①学生は、指導教授の指導を受けて履修しようとする授業科目を選定し、指導教授の承認を経て所定の期日までに申告しなければならない。

②履修すべき単位は下記の組み合わせによるものとする。

【修士課程】 3 2 単位以上

1) 専門科目

- | | |
|--------------------|-------------|
| イ 主科目（指導教授が担当する科目） | 1 科目 2 単位 |
| ロ 副科目（主科目以外の科目） | 1 科目 2 単位以上 |

2) 共通教育科目（その他の分野）

- | | |
|--|-------------|
| イ 臨床医科学分野（ただし、出身分野及び専攻分野によって必修を指定しないこともある）
内科系医科学汎論又は外科系医科学汎論 | 1 科目 4 単位 |
| ロ 医学研究倫理学（原則として1年次に履修） | 1 科目 2 単位 |
| ハ 医療人間科学 | 1 科目 2 単位以上 |

3) 特別講義 [選択科目]

2 単位

4) 演習

4 単位

5) 特別研究

1 0 単位

ただし、医学物理士養成コース、臨床心理学コースにあつては、次の組み合わせにより履修するものとする。

〔医学物理士養成コース〕 3 6 単位以上

1) 専門科目

- | | |
|-----------|-------------|
| イ コース専門科目 | 7 科目 1 2 単位 |
| 医学物理学 ※1 | |
| 先端放射線治療技術 | |

放射線医学物理学特論
量子原子核物理学
計算物理数学
放射線腫瘍学
放射線治療物理学演習

- ロ 主科目及び副科目 1科目2単位以上
指導教授が担当する科目（主科目）
主科目以外の授業科目（副科目）
- 2) 共通教育科目（その他の分野）
- イ 臨床医科学分野（ただし、出身分野及び専攻分野によって必修を指定しないこともある。）
内科系医科学汎論又は外科系医科学汎論 1科目4単位
- ロ 医学研究倫理学 1科目2単位
- ハ 医療人間科学 1科目2単位以上
- ニ 特別講義〔選択科目〕 2単位（選択科目）
- 3) 演習 1科目4単位
放射線医学物理学演習
- 4) 特別研究※1 10単位
- ※1：専攻分野が医療工学の授業科目

〔臨床心理学コース〕 53単位以上

1) 専門科目

主科目及び副科目(主科目以外の授業科目)

ただし、次の必修科目から11科目20単位、選択必修科目各群からそれぞれ2単位以上、計10単位以上、合計30単位以上を履修するものとする。

①必修科目 11科目20単位

臨床心理学特論Ⅰ、臨床心理学特論Ⅱ、臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）、臨床心理面接特論Ⅱ、臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）、臨床心理査定演習Ⅱ、臨床心理基礎実習Ⅰ、臨床心理基礎実習Ⅱ、産業精神保健学（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）※1、教育分野に関する理論と支援の展開、心の健康教育に関する理論と実践

②選択必修科目A群 1科目2単位以上

心理学研究法、心理評価・解析学 ※2、心理統計学

③選択必修科目B群 1科目2単位以上

人格心理学、発達精神医学 ※1

④選択必修科目C群 1科目2単位以上

家族心理学（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）、
犯罪・矯正心理学（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）

⑤選択必修科目D群 1科目2単位以上

臨床精神医学（保健医療分野に関する理論と支援の展開）、医療心理学 ※1、

障害者心理学（福祉分野に関する理論と支援の展開）

⑥選択必修科目E群 1科目2単位以上

投影法（ロールシャッハテスト中心）、心理療法Ⅰ（精神分析的な心理療法）、
心理療法Ⅱ（来談者中心療法・学校教育相談）

2) 共通教育科目（その他の分野）

イ 医学研究倫理学（原則として1年次に履修） 1科目2単位

ロ 特別講義 2単位（選択科目）

3) 臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習）、臨床心理実習Ⅱ 2科目11単位

4) 特別研究 10単位 ※4

※1：専攻分野が医療人間科学の授業科目

※2：専攻分野が（その他の分野）医療人間科学の授業科目

※3：（その他の分野）医療人間科学、臨床医科学の授業科目は自由科目とする

※4：各専攻分野の授業科目

【博士課程】32単位以上

1) 専門科目

イ 主科目（指導教授が担当する科目） 1科目2単位

ロ 副科目（主科目以外の科目） 1科目2単位以上

2) 共通教育科目

イ 医学研究倫理学（原則として1年次に履修） 1科目2単位

ロ 医療人間科学 1科目2単位以上

3) 特別講義 2単位又は4単位

4) 演習（臨床医科学群以外の学群） 6単位

5) 実習（臨床医科学群のみ） 8単位

6) 特別研究 12単位

※1：2) 共通教育科目については、修士課程時に履修した科目を再度履修する事は出来ない。

ただし、がん個別化医療専門医養成コース及び集学的がん治療実践コースにあつては、次の組み合わせにより履修するものとする。

〔がん個別化医療専門医養成コース〕 32単位以上

1) 専門科目

イ 基礎腫瘍学、臨床腫瘍学（主科目） 2科目4単位

ロ 主科目以外の授業科目（副科目） 1科目2単位以上

ただし、臨床遺伝医学を必修とする。

2) 共通教育科目

イ 医学研究倫理学（原則として1年次に履修） 1科目2単位

ロ 医療人間科学分野 1科目2単位以上

ハ 特別講義	2 単位又は 4 単位
3) 演習 (臨床医科学分野を除く)	6 単位
4) 実習 (臨床医科学分野のみ)	8 単位
5) 特別研究 ※1	1 2 単位

※1:各専攻分野の授業科目

[集学的がん治療実践コース] 3 4 単位以上

1) 専門科目

イ コース専門科目	3 科目 6 単位
基礎腫瘍学, 臨床腫瘍学, がんサバイバーシップ学	
ロ 指導教授が担当する科目 (主科目)	1 科目 2 単位
ハ 主科目以外の授業科目 (副科目)	1 科目 2 単位以上
放射線腫瘍学 ※1 を含む	

2) 共通教育科目

イ 医学研究倫理学 (原則として 1 年次に履修)	1 科目 2 単位
ロ 医療人間科学分野 (以下の科目から選択)	1 科目 2 単位以上
ハ 特別講義	2 単位又は 4 単位

3) 演習・実習

がんゲノム医療演習・実習、放射線治療演習・実習

4) 特別研究 ※2

※1:医学物理士養成コース (修士課程) の授業科目

※2:各専攻分野の授業科目

5. 単位の認定

授業科目を履修し当該授業科目の試験に合格した者には、研究科の定めるところにより所定の単位を与える。

6. 試験及び成績の評価

履修した授業科目の試験は所定の期間内に行う。ただし、平常の成績をもって試験の成績に代えることがある。

試験の成績は優・良・可・不可の 4 種をもって表し、優・良・可を合格とし、不可を不合格とする。

7. 修了要件

【修士課程】 2 年以上在学し、32 単位以上 (医学物理士養成コースは 36 単位以上、臨床心理学コースは 53 単位以上) を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、研究科の行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

【博士課程】 4年以上在学し、32単位以上※（がん個別化医療専門医養成コースは32単位以上、集学的がん治療実践コースは34単位以上）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、研究科の行う博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

8. 最終試験

最終試験は、所定の単位を修得し、かつ学位論文の審査に合格した者について行う。最終試験に関し、必要な事項は別に定める。

9. 学位論文の審査等

学位論文の審査その他学位に関する必要な事項は、別に定める北里大学学位規程による。

※学位申請には、申請前年度までに、「医学研究倫理学」の単位を取得しておく必要があります。